

市政懇談会質疑要旨

◎木次会場

質問・要望・意見	市からの回答
<p>まちづくりの基本理念について、市町村合併や三位一体改革で行政基盤が揺らぎ、殺人などの大犯罪が日常茶飯事に横行し、行く末が案じられるこの時代に、古代出雲を再現するかのように、この地から「新しい日本の理想とする自治体」、「日本の原点」をつくり上げていこうとすることではないかと解釈しているが、市長の所感を伺いたい。(男性J)</p>	<p>私たちは、ともすると、この地域の持っている良さに気付かず、逆に訪れる人からその良さを指摘される。この地域の良さをもっともっと私たちが理解し、育み、自信を持って情報発信していくことが大切である。ひとつひとつのこの地域ならではの良さを活かしていくことが、日本の原点としてのまちづくりになっていくのではないかと。この地域には他に無い自然、歴史、文化、伝統がある。こうしたものを活かしたまちづくりをしていくことがテーマにかなうまちづくりだと思う。そのためには、市民の皆さんにどんどん意見を出して頂きながら、市民の皆さんと行政が同じ目線で取組むことが大切だと思う。(市長)</p>
<p>まちづくりの基本理念を達成し、市建設計画に挙げられるまちの将来像を実現するため、職員には、「自分たちがやらねば…」という気概と信念、責任感を持って仕事をやりぬく気風を市役所の中に作って頂きたい。(男性J)</p>	<p>職員の考え方も、きちんとまちづくりの理念を目指しての認識を持って取組むべきものと思う。そのために、まず、日本一を目指した接遇の向上を図り、ひいては市民の皆さんに「まちづくりの理念にかなった仕事をしている」というように思ってもらえるようがんばっていきたい。(市長)</p>
<p>協働のまちづくりにおいて重要なことは、行政と市民が同じ認識を持ち、同じ土俵に立つことではないか。特に、6の町がひとつになるために小異を捨て大同団結していくためには、市民憲章を早く定めたほうが良い。市民憲章は、市民等が雲南市に誇りと愛着を持ち、日常生活の糧となり、目標となり、更には市民の連帯と自主的な実践活動を興し市全域の活性化運動につながるものとするため、制定時に、普及方法と活用方法も決めておく必要がある。また、策定は行政と住民の協働によって生み出すことが重要であり、プロセスを大切に策定していくべきである。具体的な策定計画を教えてください。(男性J)</p>	<p>市民憲章の制定そのものが市民の皆さんと行政の協働によるまちづくりのシンボルとなるものであるので、できるだけ早く取組んでいきたい。(市長)</p> <p>雲南市では、「まちづくり条例」を制定し、条例の中で「まちづくり」についてうたっていきたくて考えている。17年度に入ると、市民の皆さんの意見等も踏まえながら積極的に検討を進め、18年度中途には議会に上程して決定していただくようなスケジュールを考えている。(政策企画部長)</p>
<p>木次町では従来「町政懇談会」や「まちづくり懇談会」として8地区で開催してきた。今後の市政懇談会は1町1会場ではなく複数会場で開催してほしい。(男性K)</p>	<p>17年度以降の市政懇談会はこれまでの開催会場数を踏襲したい。ただし、市長・助役で手分けして出掛けなければならないこともある。また、定期的な市政懇談会のほかにも申出により積極的に出掛けて行きたい。(市長)</p>
<p>「財政状況が非常に厳しい」といわれているが、市民にとってはピンとこない。雲南市が具体的にどのような状況なのか教えてください。(男性K)</p>	<p>本当に厳しい状況にあるが、具体的な内容は議会前なので申し上げられない。三位一体改革が唱えられる前は、普通建設事業費を10年間で500億円と見込んでいたが、今は370億円くらいしか投資できない状況になった。困った状況ではあるが、「困った。困った。」と言っているだけでなく、いろいろな費目を削減しながら、新しい事業の財源をできるだけ確保して行こうと考えている。(市長)</p>
<p>島根、鳥取両県とも人件費対策等積極的に財政対策に取り組んでいる。雲南市の職員体制は嘱託・臨時職員を含めて905名であるが、なぜそれほど必要かわからない。雲南市において職員体制や人件費の圧縮対策の考えを伺いたい。(男性K)</p>	<p>特別職、職員ともかなりの人件費削減をしなければならないと思っている。17年4月から特別職と管理職は人件費の削減をしていきたい。また、物件費もかなりの見直しを図り、財源の捻出効果を出したい。(市長)</p>

質問・要望・意見	市からの回答
<p>住民の声を聴くこと情報の双方向性を図ることは非常に喜ばしいことだが、これからは、外部の情報を積極的に収集することが極めて重要になる。その方策を十分に講じてほしい。そして、収集した情報を充分分析し、政策に結びつけ、その結果を情報開示してほしい。(男性L)</p>	<p>情報開示は顔と顔を突き合わせてという方法が一番良い方法だが、そういかない場合には、補完的に広報誌やCATV等マスコミを通じた情報開示を行う。また、市民の皆さんの意見をいかに把握するかが大切であると考えている。あらゆる手段を通じて情報開示し、皆さんの声を把握する方策を考え実践していきたい。(市長)</p>
<p>予防医療を積極的に進めていけば、介護・医療とも保険や医療費の抑制に繋がっていく。ぜひその方向で進めてほしい。保健等の分野の具体的な取組みの考えを伺いたい。(男性L)</p>	<p>18年度からスタートする第三次の介護保険事業計画の中では、「予防介護」ということも普段から取組んでいこうという計画がある。保険者である広域連合と協力しながら要介護認定者の減少を目指し取組んでいきたい。また、「身体教育医学研究所」を平成18年4月からスタートさせようと思っている。これは、吉田村での取組みを全市に広げていくもので、若年者から高齢者まで普段から健康に気をつけ、特に、高齢者は病気になるように、介護を必要としないように毎日の生活からそれを目指していきたい。(市長)</p>
<p>雲南病院向けのバスも整備され大変良いが、医師の異動が頻繁で患者との信頼関係に立って治療を受けることが損なわれる状況にある。総合病院としての機能が損なわれないよう市として真剣に考えてほしい。(男性L)</p>	<p>研修医制度や大学の法人化で地方の病院は医師の確保が難しい状況になっている。近隣の大規模病院等との相互連携体制を十分に構築しつつ、総合性を確保することを掲げながら雲南病院のあるべき姿を求めていかなければならない。(市長)</p>
<p>JA西石見のコシヒカリの台湾への輸出が始まっている。断然美味しい奥出雲ブランドのコシヒカリを是非、台湾、中国に積極的に輸出ができるようJAと力を合わせて取組んでほしい。(男性L)</p>	<p>JA西石見の取組みはすごい取組みであると思っている。農家の皆さんには「売れる米作り」ということで取組んで頂いている。行政としてもJAと協議しながら、ふるさと産業の核となる「島根雲南米」ブランドの米作りを積極的に推進していきたい。(市長)</p>
<p>膨大な山林を抱えるこの地域で、山林労働者は少ないながらも、水資源・環境対策のためにも、担い手を育てつつ一生懸命頑張っている。赤字のため県森連の斐伊川木材流通センターが今年度一杯で廃止されるとのことだが、市の考えを伺いたい。(男性M)</p>	<p>林業のあり方については、単に林業振興にとどまらず、水資源の涵養、みどり環境保全、環境問題に結び付いている。市の大部分を占める山林の保全・育成については、行政も積極的に対応しなければならない。その林業の拠点となる場所であるので、願わくば引き続き営業されることを望む。このことは、市や県森連だけの問題ではなく、林業関係者や山林保有者など各方面の方の意見を聞き、相談していかねばならないことと思う。(市長)</p>
<p>雲南市には、飯石森林組合と大原森林組合の2つがあるが、今後の行政の対応は。(男性M)</p>	<p>まずは、森林組合の方であり方を話し合わせ、その上で、それについて行政としてどう思うかと相談して頂くとよい。(市長)</p>